

第8回地域づくり専門部会 開催結果概要

タンチョウをシンボルにして長沼町の魅力を発信する取組を推進しました！

タンチョウも住めるまちづくり検討協議会 第8回 地域づくり専門部会

■開催日時：令和6年1月15日(月) 18:30~20:00

■開催場所：長沼町民会館 2階 中会議室

■出席者：計12名(うち委員3名)



◆ワーキング (WG) 実施状況

令和5年5月30日 合同WG

令和5年9月19日 合同WG

令和5年12月19日 合同WG



今年のタンチョウ家族



道の駅直売所での展示

議事と主な意見

(1) タンチョウの飛来・繁殖状況について

(2) 令和5年度の地域づくり専門部会の取組状況について

- タンチョウに影響のない道の駅と連携ができれば取組の幅も広がるのではないかと。
- 地域内の特にハード面の整備が進んでいない。舞鶴遊水地だけでなく、集客力のある道の駅で遊水地の様子が見られるようにするなどして、舞鶴遊水地と地域の連携を推進してはどうか。
- 学校への出前授業・環境学習は、子どもが地域の価値に気付く良い機会になる。環境保全や地域づくりの取組を発展させることで、子どもに伝える内容も常に更新される状態になると良い。

(3) 令和6年度の地域づくり専門部会の取組案について

- 映画を鑑賞した観光客の増加が予想される。そのような観光客の期待に応えるには、現状ではタンチョウに関連する展示やお土産が少ない。タンチョウも住めるまちづくりサポーターやふるさと納税等有効な手段を活用し、資金の確保をして環境整備を推進するべき。
- 日本航空株式会社との連携が進んでいる。今後の継続性や発展性を考えると、同社にとっても利点のある取組にしていく必要がある。

(4) 石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会の設立と地域づくり専門部会の体制について

- 設置するWGは、4つでは多すぎるのではないかと。
- 組織内人事で取組の継続性が失われることが無いように留意する必要がある。
- スピード感のある目標、体制にする必要がある。民間企業は行政よりもシビア。取組の実行部隊としてNPO法人等を設立することも必要ではないかと。



小学校での授業



(株)JALスカイ札幌社員勉強会

